



大倉山を遊び尽くせ！(2/13)

大倉山ジャンプ競技場（宮の森1274）において「中央区ウインタースポーツフェスタin大倉山」（同実行委員会主催）が開催され、親子連れなど約5,900人が雪遊びを楽しみました。

この日会場で一番人気があったのは、普段は入ることができないランディングバーンを利用した「チューブすべり」。参加者は、滑り下りるスピードや頬に当たる風の感触を楽しみながら歓声を上げていました。

ほかにもジャンプ台の頂上までコース横の階段を歩く「Satz階段ツアー」やスノーシュー体験、宝探しゲームなど、いつもとは一味違った雪の楽しみ方に会場は大いに盛り上がっていました。

▶大倉山の風になる！



◀重さに逆らっている？

▶頂上まであと一息



◀深い雪でも大丈夫

冬を彩る温かい光 (2/5)

札幌パークホテル（南10西3）において、中島児童会館主催によるスノーキャンドルの制作と点灯が行われ、約50人の子どもたちや保護者が参加しました。

これは2月11日(祝)から13日(日)まで開催された「ゆきあかりin中島公園2011」を飾るためのもので、子どもたちはお互いに協力しながら、思い思いのスノーキャンドルを作りあげました。

▶みんなの想いを込めて点灯



▲冬の夜を明るく



◀力を合わせて尊い命を救う

備えあれば憂いなし (1/20)

西まちづくりセンター（南6西13）において西連合町内会主催の「冬の震災体験」が行われ、地域住民など約50人が参加しました。

この日は、「検索棒」で雪に埋もれた人を探す方法や担架の使い方の説明を受けたり、AED（自動体外式除細動器）の取り扱いを体験したりしました。

参加者は、厳冬期の災害発生に備え、熱心に訓練に取り組んでいました。